

【別紙2】

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】 学校名 静岡市立中藁科小学校

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	6年1組 13名 5年1組 8名 4年1組 10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	アスリートの方々の生き方や考え方を知ることによって、これからの生き方を考えようとする事ができる。 ・「ボッチャ」を知る。 ・パラリンピックに参加することの意味を考える。
5 取組内容	大塚先生による 「ボッチャ」の概要の説明 イギリス発祥 DVD を使って200人が参加する静岡県の大会を映像で見る。 ランプやリリースを使って誰もが参加できる競技 「ボッチャ」を体験する。 ルールの説明を受けながら体験をはじめめる。 6年生が2チームに分かれて体験する。 5年生対4年生で対戦する。 6年選抜対先生チームと対戦する。

<p>6 主な成果</p>	<p>○「ボッチャ」を知ることができた。 先生チームと6年生、5年生対4年生など、年齢がちがう人たちでも対戦できる、夢中になれる競技であることが分かった。 ランプやリリースなどを使って誰でも参加できる競技であることが理解できた。 アンケート項目「オリンピック・パラリンピックの種目をやってみたいと思いますか。」が事前ではすごくあてはまるが7人だったのが14人に増えたことで、やってみたいという気持ちが高まった。 アンケート項目「年齢・男女・障害のあるないに関係なく、いろいろな人とスポーツをしてみたいと思いますか」が事前では14人だったのが、20人に増えたことで、スポーツの幅の広さを理解できたと考えられる。</p>
<p>7実践において工夫した点 事業の特色</p>	<p>○誰でも参加できる競技であり、その競技ができることによって生活にめあてができるようになることを、生きがいができるようになることをしてもらう。 ○知らないスポーツを知ることによってスポーツをする意義について考え、スポーツを楽しむ心を育てる。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○今回は子どもたちが体験する、楽しむことが主となり、来ていただいたアスリートの技を見る機会がなかった。アスリートの方のパフォーマンスも見ることで競技の奥深さや、だれもが楽しめる競技ということがより深く理解できたのではないかと思う。 ○競技を楽しむ時間を十分にとることができたことは大変良かった。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>○今回のように競技の歴史や大会の様子を映像で見ることができれば、よりその競技への理解が深まり、また、興味もわいてくると考えられる。 より多くの競技を調べられたり、体験できたりする機会があれば、一斉授業ではなく、少人数グループで体験をし、そのことを他のグループへ発表・紹介するなどして、インプットだけではなく、アウトプットすることにより、その競技の知名度をあげたり、オリンピック・パラリンピックへの参加意識が強くなると考えられる。 多くのアスリートと関わる機会を計画できるとありがたいと感じます。</p>